



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



健康管理に気を配りましょう。

先週末より本校ではインフルエンザが流行し、今週、4年と6年を2日間、学年閉鎖としました。身体の抵抗力が落ちると、インフルエンザウィルスなどに感染しやすくなります。寒暖差の大きい今の時期は、自分が思っている以上に体力を消耗しています。家に帰ってから、いつもよりゆっくりとお風呂に入ったり、早く寝たりして、体を休めることを意識しましょう。心と体に余裕が生まれることで、生活がうまく流れていくはずですよ。これからさらに朝夕の寒さが厳しくなります。まだ体が寒さに十分に慣れていないため、少しの油断が体調を崩すことにつながります。防寒対策にも気を配ってくださるようお願いします。



今週予定していた1年生と子ども園年長組との「なかよし交流会」、6年そばうち体験は、インフルエンザの罹患者が多いことから、延期としました。ご了承ください。

～ インフルエンザを予防する食べ物って？ ～

シャットアウト!



☆ヨーグルト … 乳酸菌は体の免疫力を高める！

☆納豆（なっとう） … 植物繊維をはじめとした腸内環境を整える成分が豊富！

☆緑茶（りょくちゃ） … 抗ウイルス作用のある「カテキン」が豊富！

その他、サバやアジなどの青魚、にんじんやカボチャ、トマトなどの緑黄色野菜など。何でもすききらいせずに食べることが大事!!



校外学習（2年）



11月13日(水)、生活科「みんなでつかう まちの しせつ」の学習で、能代市立図書館を訪問しました。

往路は町バスでしたが、復路は能代駅から五能線の電車を利用し、公共施設や公共交通機関の利用の仕方を学んだり、そこで働く人たちの様子を見学したりしました。

私たちが安全かつ便利に利用することができるよう、図書館や駅にはいろいろな人が働いていることに気づき、自分たちの生活が多くの人に支えられていることを実感することができました。

大変貴重な体験となりました。





メディアと上手に付き合おう

来週は学習強調期間、そしてヘルハピ週間（メディアの使い方）です。

メディア機器の画面を長い時間見続けると、おでこの辺りにある脳の「前頭前

野」という部分があり働きません。特に、小学生は脳が発達する時期であるため、脳が受ける影響はとても大きいです。前頭前野がうまく働かなくなると、「がまん」ができなくなる脳になり1日中ゲームやスマホをさわってすごす生活（依存症）になることもあります。当然、生活のリズムは崩れ、日常生活に支障をきたしてしまいます。

メディア機器を使うときの健康面への注意点を理解し、メディア機器を使う際、どんなことに気を付けたらよいか家庭で話し合い、ルールを決めて使うようにしましょう。



集中力・思考・判断力の低下



発動性・意欲・創造性の低下



情緒不安定



人格の荒廃

授業の様子から



1年 生活

枯れ葉を使って、「お面作り」をしています。ベースとなるお面に、様々な形や大きさの葉をくっつけて、思い通りのお面を作っていました。



3年 社会

来週に予定している八峰消防署見学での質問を考えています。「何月に一番火事が多いか?」、「働いている人は何人か?」など、たくさんの質問を考えていました。



今週の1枚



現在、学校玄関前のドウダンツツジが見頃です。今年は10月の高温の影響を受けて、全国的に紅葉の見頃が遅れているようですが、夕日に真っ赤に映える姿は圧巻です。錦秋に染まる庭に、暫し目を奪われています。

つぎ

愛国心を育む

アメリカ大統領選挙は、トランプ前大統領の圧勝で4年ぶりの政権奪還となりました。この選挙を巡る報道では、日本では考えられない支持者の熱狂ぶりに、異様さを感じました。選挙中は、共和党支持者の3割が、選挙の結果次第では「愛国」の名の下に、暴力に訴える必要があると考えているという記事も見られました。

「愛国」という言葉は、私たち日本人は積極的に使うことが少ないような気がします。もしかしたら、それは「愛国」が、過去の戦争や思想的な問題と結び付けられる傾向があるからかもしれません。

学校では、「愛国心」は道徳で取り扱われ、5・6年の道徳教育の内容に、「我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと」とあります。

愛国心は強制されるものではありません。よって、子どもの内なる愛国心をどう引き出し、自覚させるかが大切になります。

国を意識しなくても、子どもたちは郷土の伝統や文化、自然の中で生きています。成長過程で様々なものに触れさせることで、そのよさを理解させ、継承していくとうとする心を育みたいものです。体験や学びを通して育まれた郷土愛が、自分の住んでいる国をよくしたい、さらには他国もよくしたい、という思いに繋がってくれば幸いです。

アメリカ大統領選挙の翌日、『秋田魁新報』に県内の大学に留学しているアメリカ人のインタビューが掲載されていました。

「愛国心とは他者を攻撃することです。守るものではない。本当は自分の信念に従い、プライドを持つことで示すべきものである」

愛とは寛容なものです。「愛国心」が人間同士の分断を生むことはあってはならないと思いました。

